

保守プランに関する重要な変更

よくある質問(FAQ) – お客様向け

このドキュメントは、サブスクリプション方式への移行に伴って、保守プランのお客様向けに近日実施される変更について、ご説明したのになります。

* 最新の更新箇所の翻訳がまだ完了していない場合があるため、このFAQの最新バージョンにつきましては英語版をご確認ください。

最終更新: 2017年5月8日

目次

概要	4
1.1 保守プランメンバーに対してどのような変更が行われるのですか?.....	4
1.2 現在契約中の保守プランを更新するとき、どのような選択肢がありますか?.....	4
1.3 今回の変更はすべてのオートデスクのお客様に影響がありますか?.....	4
1.4 保守プランの更新を継続することはできますか?.....	4
1.5 保守プランを更新せず、サブスクリプションへの切り替えも行わずに保守プランが満了した場合はどうなりますか?.....	4
1.6 今回の保守プランに関する変更は世界中で行われるのですか?.....	5
保守プランからサブスクリプションへの切り替え	5
2.1 保守プランメンバーにとって、サブスクリプションへの切り替えにはどのようなメリットがありますか?.....	5
2.2 保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える場合、どのようなオプションがありますか?.....	5
2.3 保守プランからサブスクリプションに切り替える場合に、変更できないものは何ですか?.....	6
2.4 保守プランを契約している製品からサブスクリプションへの切り替えは、いつから可能になりますか?.....	6
2.5 保守プランからサブスクリプションに切り替えるにはどうしたら良いですか?.....	6
2.6 保守プランからサブスクリプションに切り替えた後でも、新規サブスクリプションの対象となる製品およびバージョンである場合、インストール済みの永久ライセンスのソフトウェアを継続して使用できますか?.....	6
2.7 サブスクリプションに切り替えた後、保守プランを契約していた製品で作成したファイルとデータは使用できますか?.....	7

2.8 サブスクリプションに切り替えた場合、アプリケーションとデータはクラウドに保存されることになり ますか?	7
2.9 保守プランをサブスクリプションに切り替えた後にそのサブスクリプションが満了した場合はどう なりますか?	7
切り替え価格	7
3.1 保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える場合の価格を教えてください。	7
3.2 保守プランを契約している製品からサブスクリプションへの切り替えを早めに行うことで、どの ようなメリットがありますか?	7
3.3 割引価格が 3 年間固定されるようにするには、どのような支払いオプションがありますか?.....	8
3.4 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、4 年目以降の更新価格はどのようになり ますか?	8
契約管理	8
4.1 保守プランからサブスクリプションに切り替えると新しい契約番号になりますか?	8
4.2 契約している保守プランのライセンスの一部のみをサブスクリプションに切り替えることはでき ますか?	8
4.3 切り替え後の新しいサブスクリプション契約と既存の契約の満了日を揃えることはできますか?	8
4.4 サブスクリプションに切り替えた後、クラウド クレジットはどうなりますか?	8
ソフトウェアの管理と使用	9
5.1 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、前バージョンで使用できる製品はどれで すか?	9
5.2 サブスクリプションに切り替えたのち、保守プランで使用しているのと同じバージョンのソフト ウェアを継続して使用することはできますか?	9
5.3 インターネットへの接続が制限されている場合、どのようなサブスクリプションのオプションを利 用できますか?	9
5.4 サブスクリプションへの切り替え後、新しいバージョンがリリースされるたびにアップグレードし なければなりませんか?	9
5.5 サブスクリプションの新しいソフトウェアはどのように設定するのですか?	9
5.6 製品が既にインストールされている場合、どのような設定が必要になりますか? 一度アンインス トールし、新規サブスクリプションのソフトウェアを再度インストールする必要がありますか?..	10
5.7 各ユーザーが新規サブスクリプションの新しい製品やサービスを利用できるようにするには、 何を行う必要がありますか?	10
5.8 切り替え後、指名ユーザーは新規サブスクリプションに自動的に割り当てられますか?	10

5.9 保守プランがサブスクリプションに切り替えられたことは、どのようにして通知されますか?....	10
5.10 永久ライセンスを失効したり、サブスクリプションの契約を終了したあとも、オートデスク製品で作成したファイルを開いたり編集したりすることはできますか?.....	11
5.11 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、サポート特典に何か変更が生じますか?.....	11

概要

1.1 保守プランメンバーに対してどのような変更が行われるのですか？

オートデスクは、オートデスクのツールとテクノロジーをお客様に最大限ご活用いただくため、サブスクリプション方式によるご提供こそが最適な方法であると確信しています。サブスクリプションにより、接続型サービスを通じて機能強化や新機能の提供方法を根底から変えていくことができるからです。

2017年6月以降、保守プランを契約しているお客様は、更新時に特別価格で簡単にサブスクリプションに切り替えることができます。お客様はこのオプションを、保守プランを契約している製品のシートごとに1回限り利用できます。ただしこの切り替え価格は2018年に5%、2019年にはさらに5%の引き上げを予定しているため、サブスクリプションへの切り替えを早めに行うことで、コストをより多く節約できます。このオプションに関する詳細は、「[保守プランからサブスクリプションへの切り替え](#)」セクションを参照してください。

希望するお客様に対しては引き続き1年単位で保守プランを更新できるようにしますが、2017年2月20日以降、保守プランを複数年単位で更新することはできなくなりました。さらに、オートデスクにとって2種類のビジネスモデル(サブスクリプションと保守プラン)を管理していくことは非常にコストがかかるため、保守プランの提供を維持していくためにも、2017年5月7日以降、保守プランの更新価格が、2017年には5%、2018年には2017年の価格の10%、2019年には2018年の価格の20%引き上げられます。

1.2 現在契約中の保守プランを更新するとき、どのような選択肢がありますか？

現在契約中の保守プランを更新する際、お客様には次の3つの選択肢があります。

- 保守プランを契約している対象の単体製品を、同じ製品のサブスクリプションに切り替える
- 保守プランを契約している対象の単体製品またはスイート製品を、業界別コレクションのサブスクリプションに切り替える
- 保守プランを1年単位で更新する

1.3 今回の変更はすべてのオートデスクのお客様に影響がありますか？

今回の変更は、保守プランを契約しているオートデスク製品をお持ちのお客様に影響がありますが、オートデスク製品のサブスクリプションをご利用のお客様には影響はありません。

1.4 保守プランの更新を継続することはできますか？

はい。保守プランの利用を継続することをご希望のお客様は、引き続き保守プランを1年単位で更新できます。

1.5 保守プランを更新せず、サブスクリプションへの切り替えも行わずに保守プランが満了した場合はどうなりますか？

保守プランが満了すると、保守プランを通じて付与される特典をご利用いただけなくなります。たとえば、ソフトウェアのアップデートの入手、前バージョン使用特典、ホーム ユース特典、海外持ち出し特典、技術サポート、クラウド クレジットの利用、クラウド サービスが該当します。また、保守プラン満了後は、割引価格でサブスクリプションに切り替えることができなくなります。

永久ライセンスのソフトウェア使用許諾契約に従い、インストールとアクティベーションが完了しているソフトウェアのうち、最も新しいバージョンを引き続きご利用いただけます。保守プラン契約を通じて提供されていた、より新しいバージョンのソフトウェアをインストールしてご利用いただくこともできますが、新しいバージョンの利用を開始すると、それ以前のバージョンを使用する権利を放棄したものと見なされます。

例: 現在永久ライセンス 2015 バージョンを使用している。2016 バージョン以降はインストールやアクティベーションは行っていない。保守プランが満了後も、引き続き 2015 バージョンを利用することができる。保守プランの特典で入手した 2016 バージョン以降のものにバージョンアップする際は、2015 バージョンをアンインストールする必要がある。

1.6 今回の保守プランに関する変更は世界中で行われるのですか？

はい。この変更は世界中のその他の国々でも行われます。

保守プランからサブスクリプションへの切り替え

2.1 保守プランメンバーにとって、サブスクリプションへの切り替えにはどのようなメリットがありますか？

オートデスクは今後もサブスクリプション サービスへの多大な投資を続けます。これによりお客様は、次のような特典を得ることができます。

- **最新かつすぐれた製品機能:** オートデスクが継続的に開発を進めている革新的な機能、主力製品に対する更新プログラム、デスクトップ製品向けのクラウド サービスを利用することができ、新しい機能が利用可能になり次第、追加料金なしで即座に手に入れることができます。
- **新しい「業界別コレクション」の利用:** 2 つ以上のオートデスク ソフトウェア製品が必要な場合、サブスクリプションでのみ提供されている業界別コレクションなら導入費用を大幅に節約できます。
- **さらに便利になった技術サポート:** オンラインでの迅速な対応だけでなく、ご指定の時間にオートデスクの技術サポート スペシャリストがお客様に直接お電話する予約制電話サポートもご利用いただけます。
- **シンプルな管理:** お使いのオートデスク製品をサブスクリプション方式で統一することで、ツールを使ってソフトウェアやサービスの導入、配布を一元的に管理できるようになります。

2.2 保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える場合、どのようなオプションがありますか？

保守プランを契約している製品の数多くが、更新時のサブスクリプションへの切り替えの対象製品になっています。切り替えを希望する場合、切り替えを行うすべてのシートで、その永久ライセンスを放棄していただくこととなります。切り替え対象製品を確認するには、下に示すガイドラインを参照するとともに、オートデスク認定販売パートナーまたはオートデスクの担当営業までお問い合わせください。

切り替え元の保守プラン	切り替え先のサブスクリプション
単体製品	同じ単体製品または業界別コレクション

単体 LT 製品	同じ単体 LT 製品または LT 스위트製品
Design Suite または Creation Suite	業界別コレクション
LT 스위트製品	LT 스위트製品

現在契約している保守プランの期間にかかわらず、1 年または複数年のサブスクリプションに切り替えることができます。

2.3 保守プランからサブスクリプションに切り替える場合に、変更できないものは何ですか？

保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える際、現時点では次の変更はできません。

- 支払い方法の変更(例:「都度更新」から「自動更新」)
- アクセス タイプの変更(例:「マルチユーザー」から「シングルユーザー」)
- 「1 ヶ月」または「3 ヶ月」への利用期間の変更

2.4 保守プランを契約している製品からサブスクリプションへの切り替えは、いつから可能になりますか？

2017 年 6 月以降、保守プランを契約している対象製品を、更新時(保守プランの満了日の最大 90 日前から)にサブスクリプションに切り替えられるようになります。現在の保守プランは元の契約満了日まで有効で、新しいサブスクリプション契約は、保守プラン契約が満了した翌日から有効になります。

2.5 保守プランからサブスクリプションに切り替えるにはどうしたら良いですか？

現在保守プランを契約している製品からサブスクリプションに切り替えるには、オートデスク認定販売パートナーまたはオートデスクの担当営業までご連絡ください。

2.6 保守プランからサブスクリプションに切り替えた後でも、新規サブスクリプションの対象となる製品およびバージョンである場合、インストール済みの永久ライセンスのソフトウェアを継続して使用できますか？

今回の大幅な割引でサブスクリプションに切り替えるオプションは、保守プランを契約している永久ライセンスを終了し、新規サブスクリプションに置き換えることに同意するという条件のもとに提供されます。通常は、古い永久ライセンスのソフトウェアをアンインストールし、新規サブスクリプションに紐付けられたソフトウェアをインストールする必要があります。ただし、お客様が切り替え後も使用する製品・バージョンをインストール済みである場合、このプロセスによってお客様のワークフローが中断される可能性があることはオートデスクも承知しています。

そのため、新規サブスクリプションの設定を指名ユーザーの割り当て(シングルユーザーの場合)またはライセンス ファイルの更新(マルチユーザーの場合)によって行うなど、特定の条件と制限に従う場合、新規サブスクリプションをインストールまたは配布する準備が整うまでの間、インストール済みの古い永久ライセンスのソフトウェアをそのまま残すことが許可されます*。ただし、そのソフトウェアの使用とアクセスは永続的なものではなく、永久ライセンスの利用規約の適用範囲外となります。お客様のソフトウェアは期間ライセンスとなり、該当するサブスクリプションの使用条件が適用されるようになります。つまり、新規サブスクリプションのソフトウェアをインストールする代わりに、古い永久ライセンスのソフトウェアを継続して使用する場合でも、新規サブスクリプションの使用条件に従う必要があります。

製品アップデートなどの継続的なサブスクリプションの特典を利用するには、できるだけ早めに新規サブスクリプションのソフトウェアをインストールすることを強くお勧めします。スイート製品から業界別コレ

クシオンへの切り替えなど、一部のケースでは、元の永久ライセンスのソフトウェアをアンインストールし、新規サブスクリプションのソフトウェアをインストールする必要があります。

* アンインストールの要件に対するこの例外措置には、保守プランからサブスクリプションへの切り替えに関する新たな使用条件で定められる制限および条件が適用されます。また、一部の国のお客様にはこの例外措置が適用されません(日本は適用されます)。

2.7 サブスクリプションに切り替えた後、保守プランを契約していた製品で作成したファイルとデータは使用できますか？

保守プランを契約していた製品で作成したファイルとデータはすべて、サブスクリプションに切り替えた後も引き続き使用できます。

2.8 サブスクリプションに切り替えた場合、アプリケーションとデータはクラウドに保存されることになりますか？

サブスクリプションで入手したデスクトップソフトウェアとその製品で使用するデータは、従来どおりお客様のローカルコンピュータに保存されます。クラウドサービスのアプリケーションはクラウド上で実行されます。データをクラウドに保管するか、ローカルコンピュータに残すかはお客様の使い次第です。

2.9 保守プランをサブスクリプションに切り替えた後にそのサブスクリプションが満了した場合はどうなりますか？

他のサブスクリプションと同様に、満了後はソフトウェアを利用できなくなります。お客様のデータはお客様のものであり、データファイルは引き続き保持されます(5.10 節を参照)。オートデスク サブスクリプションの新規契約を後から開始する場合は、通常価格でのご利用となります。

切り替え価格

3.1 保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える場合の価格を教えてください。

2017 年中に保守プランに契約している製品と同じ製品でサブスクリプションへ切り替えていただく場合、多くの場合そのサブスクリプションの価格は保守プランの更新価格と同額になります。

2018 年以降にサブスクリプションに切り替える場合、切り替え価格は 2018 年 5 月に 5%、2019 年 5 月にはさらに 5% 引き上げられる予定です。このオプションを利用できるのは、サブスクリプションに切り替える保守プランを契約している製品のシートごとに 1 回限りとなります。サブスクリプションの標準価格とは異なり、サブスクリプションへの切り替え価格はシングルユーザー アクセスでもマルチユーザー アクセスでも同じ価格です。

保守プランを契約している製品をサブスクリプションに切り替える場合の価格の詳細については、オートデスク認定販売パートナーまたはオートデスクの担当営業にお問い合わせください。

3.2 保守プランを契約している製品からサブスクリプションへの切り替えを早めに行うことで、どのようなメリットがありますか？

切り替え価格が、2018 年 5 月に 5%、2019 年 5 月にはさらに 5% 値上がりするため、サブスクリプションへの切り替えを早めに行うことにより、コストをより多く節約できます。切り替えることにより、今後最長 3 年間はこの価格が固定されます。

3.3 割引価格が3年間固定されるようにするには、どのような支払いオプションがありますか？

次のオプションから選択できます。

年間サブスクリプション - 2017年6月から2019年5月までの間に切り替えを行った場合は、1年ごとに同じ価格で、最長3年間契約を更新することができます。*

複数年サブスクリプション - 2年または3年契約を結んで全額を一括で支払うことができます。

* 為替などの影響により変動することがあります。

3.4 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、4年目以降の更新価格はどのようになりますか？

4年目以降も、割引価格にてサブスクリプションを更新できます(2016年度の保守プランの価格より約15%高くなります)。契約更新を継続する限り、お客様は定価よりも安い価格でサブスクリプションをご利用いただけます。この特別価格は、保守プランの更新価格や、新規サブスクリプションの価格よりも安くなります。

契約管理

4.1 保守プランからサブスクリプションに切り替えると新しい契約番号になりますか？

はい。保守プランをサブスクリプションに切り替える際に、新しいサブスクリプション契約が作成されます。現時点では、既存のサブスクリプション契約に新規サブスクリプションを追加することはできません。

4.2 契約している保守プランのライセンスの一部のみをサブスクリプションに切り替えることはできますか？

はい。契約しているライセンスの一部だけをサブスクリプションに切り替えることもできます。

4.3 切り替え後の新しいサブスクリプション契約と既存の契約の満了日を揃えることはできますか？

いいえ。現時点では、この新しいサブスクリプション契約と既存の保守プランまたはサブスクリプション契約の満了日を揃えることはできません。新しいサブスクリプション契約の更新日は、元の保守プランと同じになります。

4.4 サブスクリプションに切り替えた後、クラウドクレジットはどうなりますか？

クラウドクレジットは新しいサブスクリプション契約には引き継がれません。購入したクラウドクレジットは保守プラン契約の満了とともに無効となるため、保守プラン契約の全ライセンスをサブスクリプションに切り替える場合は、既存の保守プランの契約が満了するまでに、クラウドクレジットをすべて使い切ることをお勧めします。

ソフトウェアの管理と使用

5.1 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、前バージョンで使用できる製品はどれですか？

保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、当該製品の保守プラン契約は終了し、新規サブスクリプション契約を開始することになります。この新規サブスクリプション契約では、「[サブスクリプションの前バージョン対象製品一覧](#)」に記載されている前バージョンを使用できるようになります。

また、保守プランのご契約内容に含まれていた製品が新規サブスクリプションにも含まれている場合は、保守プランの契約期間中にダウンロードしてアクティベートした製品およびバージョンを継続してお使いいただけます。サブスクリプションへの移行中、またはサブスクリプションが満了するまでの間は、これらの製品およびバージョンを必要なだけ継続してお使いいただけます。新規サブスクリプションの対象となるソフトウェアをインストールしてアクティベートした後は、不要となった以前の永久ライセンスをアンインストールしていただくようお願いいたします。

たとえば、保守プランの前バージョン使用特典に基づいて AutoCAD 2010 を使用している場合は、保守プランからサブスクリプションに切り替えた後も、サブスクリプション契約の更新を継続する限り、サブスクリプションの権利に基づいて AutoCAD 2010 を引き続きお使いいただけます。

5.2 サブスクリプションに切り替えたのち、保守プランで使用しているのと同じバージョンのソフトウェアを継続して使用することはできますか？

はい。ほとんどの場合、保守プランの特典としてご使用中のバージョンを、サブスクリプションへの切り替え後も引き続きお使いいただけます*。この特典は、サブスクリプション契約に基づく権利の一環として提供されます。また、「[前バージョン対象製品リスト\(サブスクリプション\)](#)」に記載されている前バージョンについてもご利用いただけます。

* 特定の条件や制限に従う必要があります。

5.3 インターネットへの接続が制限されている場合、どのようなサブスクリプションのオプションを利用できますか？

マルチユーザー アクセスでは、インターネット接続がなくてもソフトウェアを使用できますので、保守プランでネットワーク版をご使用されているお客様は、サブスクリプションのマルチユーザー アクセスへ切り替えることができます。一方で、保守プランでスタンドアロン版をご使用されているお客様は、サブスクリプションのシングルユーザー アクセスはインターネット接続が必須のため、この切り替えオプションを利用することができません。マルチユーザー アクセスのサブスクリプションを新規で購入する必要があります。

5.4 サブスクリプションへの切り替え後、新しいバージョンがリリースされるたびにアップグレードしなければなりませんか？

いいえ。お客様は好きなタイミングでソフトウェアのアップグレードをすることができます。

5.5 サブスクリプションの新しいソフトウェアはどのように設定するのですか？

新しいソフトウェアのダウンロード、インストール、アクティベーションに関する詳細は、「[ダウンロードとインストール](#)」ページを参照してください。

5.6 製品が既にインストールされている場合、どのような設定が必要になりますか？ 一度アンインストールし、新規サブスクリプションのソフトウェアを再度インストールする必要がありますか？

製品をサブスクリプション用に再設定するのであれば、ほとんどの場合、管理者はアンインストールと再インストールを行う必要はありません*。

* 特定の条件や制限に従う必要があります。

シングルユーザー アクセスのサブスクリプションの場合: 管理者は各ユーザーに新規サブスクリプションへのアクセスを割り当てる必要があります(5.7 節を参照)。そして各エンド ユーザーは、製品内のシリアル番号を新規サブスクリプションのシリアル番号に更新する必要があります。(注: スイート製品から業界別コレクションに、または LT 製品から LT スイートに切り替えた場合は、シリアル番号の更新は必要ありません。更新しようとする、エラーが発生します。)

マルチユーザー アクセスのサブスクリプションの場合: 管理者は既存の保守プランのライセンス ファイルまたはスニペットを、新規サブスクリプションのライセンスが含まれる新しいライセンス ファイルに置き換える必要があります。また、各ユーザーにクラウド サービスへのアクセスを割り当てる必要があります(5.7 節を参照)。

5.7 各ユーザーが新規サブスクリプションの新しい製品やサービスを利用できるようにするには、何を行う必要がありますか？

シングルユーザー アクセスのサブスクリプションの製品を利用するには、管理者が指名ユーザーを追加して割り当てる必要があります。エンド ユーザーが製品を起動するとサインインするように求められるので、Autodesk Account で指名ユーザーとして設定されたユーザー ID を入力することにより、ソフトウェアを使用するための権限が認証されます。

マルチユーザー アクセスのサブスクリプションの場合、管理者は既存の保守プランのライセンス ファイルまたはスニペットを、新規サブスクリプションのライセンスが含まれる新しいライセンス ファイルに置き換える必要があります。これにより、ユーザーは新しいライセンスを使用してソフトウェアを起動できるようになります。

各ユーザーに、クラウド サービスやサポートなどのサブスクリプション特典を利用させたい場合は、マルチユーザー アクセスの場合でも、管理者は Autodesk Account で指名ユーザーを割り当てる必要があります。詳細については、「[ユーザと権限の管理](#)」を参照してください。

5.8 切り替え後、指名ユーザーは新規サブスクリプションに自動的に割り当てられますか？

いいえ。保守プランのシートのユーザーは自動的に新規サブスクリプションに割り当てられません。管理者は新規サブスクリプション用に、指名ユーザーの作成や、デスクトップ ソフトウェア、クラウド サービス、サポートへの割り当てを行う必要があります。詳細については、「[ユーザと権限の管理](#)」を参照してください。

5.9 保守プランがサブスクリプションに切り替えられたことは、どのようにして通知されますか？

現在の保守プランが満了し、新規サブスクリプションが開始されると、新規サブスクリプションと次の手順の詳細が記載された電子メールが管理者に送信されます。しばらくの間、切り替えられたライセンスには、ライセンスが削除されるまで「切り替え済み」というステータスが(Autodesk Account 上で)表示されます。新しいサブスクリプション契約は、保守プラン契約が満了した翌日から有効になります。

5.10 永久ライセンスを失効したり、サブスクリプションの契約を終了したあとも、オートデスク製品で作成したファイルを開いたり編集したりすることはできますか？

はい。ファイルを表示できる無償のビューアの提供に加え、ほとんどのオートデスク製品で、データ ファイルをメーカーに依存しないファイル形式で保存することが可能です。そのようなファイル形式が利用できる場合、他社のソフトウェアとデータ交換したり、サードパーティーのデータ変換プログラムを使用してオートデスクの標準のファイル形式に変換し、お使いのシステムで編集することができます。

5.11 保守プランからサブスクリプションに切り替えた場合、サポート特典に何か変更が生じますか？

オートデスクでは、サブスクリプションメンバーに対するサポート体制の強化に常に取り組んでおり、お客様が最も必要なときに十分なサポートをすばやく容易に得られるよう、分かりやすい方法での提供に努めております。保守プランからサブスクリプションに切り替えると、予約制電話サポートが利用できるようになります。お客様のご都合の良い時間を WEB でご予約いただきますと、オートデスクの技術サポート スペシャリストが直接その時間にお客様へお電話いたします。このサービスは、サブスクリプション契約の製品をご利用いただいているすべてのお客様が追加料金なしでご利用いただけます。

Autodesk、オートデスクのロゴ、AutoCAD、Showcase、3ds Max、Fusion、Navisworks、Inventor、VRED、および Maya は、米国およびその他の国々における Autodesk, Inc. およびその子会社または関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。©2017 Autodesk, Inc. All rights reserved.

Autodesk, the Autodesk logo, AutoCAD, Showcase, 3ds Max, Fusion, Navisworks, Inventor, VRED and Maya are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and/or other countries. All other brand names, product names, or trademarks belong to their respective holders. Autodesk reserves the right to alter product and services offerings, and specifications and pricing at any time without notice, and is not responsible for typographical or graphical errors that may appear in this document. © 2017 Autodesk, Inc. All rights reserved.